



EIA/SEAの概要版
(NTS)は外界と関わる
窓口であり、市民
との対話を促進させる
機能をもつ

著者

Paul Eijssen
Júlio de Jesus
Compiled on the basis of the documents shown in the box "Further reading," IAIA13 presentation on NTS by Jan Nuesink, and input from Charlotte Bingham, Peter Croal, Richard Fuggle, Anne Miller, Richard Morgan, Angus Morrison-Saunders, and Julia Nowacki

(和訳)浦郷昭子

FASTIPS

No. 9 | March 2015

一般向け概要版 Non-Technical Summary (NTS)

EIAやSEAからわかりやすく簡潔に重要な情報を提供して意思決定を支援することは容易ではない。一般向け概要版(NTS)はそうあるべきで、わかりやすく簡潔なNTSは、たとえ素人であっても、提案された計画/事業と懸念される環境影響を理解し評価することが可能になる。NTSは、一般市民や意思決定者に読む気を起こさせ、容易に理解できる文書であるべきだ。

時に要約版と呼ばれるNTSは、世界で実施されているEIA制度の多くで義務化されている。しかし、実際のNTSは、NTSの要件を満たさないもしくは不適切に満たしている。この10年ほど見てきたSEAとEIAのNTSは、似たような不適切さを有している。例えば、他の事例の複製、図がわずか、つじつまの合わない文章、SEAやEIAがどの程度計画や事業に寄与したかわからない、読者に伝える明確なメッセージがない、わかりやすい普通の言葉で書かれていないなどである。時に市民は、NTSはその名に見合うものになっておらず、単に事業者と審査者のためのパンフレットだとNTSを批判する。

我々はいかにしてこれら問題を避け、よい一般向け概要版にできるだろうか？

NTSは、何よりもまずコミュニケーションツールとしてとらえるべきである。ゆえに、質の高いNTSにするは、内容、構成、文章表現、見せ方の工夫が欠かせない。良いNTSをつくためのガイドラインを次に示す。

詳しく学ぶために

Canter, L. (2008). *Guidance Related to the Summary and Abstract of an EIS*. National Oceanic & Atmospheric Administration, National Marine Fisheries Service, Northeast Regional Office, Gloucester (MA). Available at <http://www.greateratlantic.fisheries.noaa.gov/nepa/docs/nmfsneronepaguidancesummaryandabstract.pdf>.
Fry, J., A. Maxweel, S. Apere, P. McAweeney, L. McSharry and A. González (2013). *Non-Technical Summaries - Due Care and Attention?* Paper presented at the 34th IAIA Annual Conference, Viña del Mar, Chile. Available at <http://www.iaia.org/conferences/iaia14/IAIA14-final-papers/Fry,%20John.%20Non-technical%20summaries.pdf>.
Jesus, J. (2009). *Good Practice Criteria for EIA Non-Technical Summaries*. Paper presented at the 29th IAIA Annual Conference, Accra, Ghana. Available at http://www.iaia.org/iaia09ghana/documents/cs/CS7-3_Jesus_Good_Practice_Criteria.pdf.
Murphy, J. (2012). *Effective Non-Technical Summaries for EIA*. IEMA e-Briefing 7, IEMA.
www.iaia.org

知っておくべき五つのこと

1. 多くの読者と公衆参加という役割の観点から、NTSはEIAやSEAレポートで最も重要な部分であるといえる。
2. NTSは様々な立場の人によって読まれることになるため、作成にあたってはこれらすべての読者を想定すべきである
3. NTSは独立して存在しうる文書とすべきである。
4. NTS作成者は創造性が豊かであるべき。本編の情報を自由に再構成し、新たに要約表を作り、サイドバーボックスを加えるなど、革新的なコミュニケーション方法を模索すべきである。
5. NTSは紙からWebベースに変化しつつあるため、内容やデザインも変化に合わせるべきである。ハイパーリングを使い、ビデオや音声を入れ、対話型のアプリケーションの利用も検討すべきである。

実行すべき五つのこと

1. できるだけ早く制作に取り掛かり、論点や読者についてよく考えること。十分な予算や時間を確保し、突貫作業で仕上げてはならない。
2. 一から作り上げ嘘のない文書とすること。つぎはぎのNTSは有効に機能しない。コピー&ペーストをしていると、適切な構成や文章作成から離れて行ってしまう。
3. NTSを作成するプロのコピーライター養成に投資し、委託すること。EIAやSEAのメンバーを使うのは最後の手段である。
4. NTS作成作業の見直しには、NTSのチェックリスト(下記のボックス参照)を用いること。
5. NTSはEIA/SEA作成チームによって内部的に見直したのち、事業や計画・プログラムに関与していない第三者によって見直してもらうこと

よいNTSのチェックリスト

- NTS矛盾なく論理的な構成であること
- 文書自体に一貫性を持たせると同時にEIAとの整合性をとること。EIAレポートやSEAレポートで述べられていない情報や結論を加えてはいけない。
- はっきりと結論を提示すべきだが、忖度やバイアスを避けること
- 文書は10ページから20ページ程度が望ましい
- グラフや図を効果的に使うこと。そうすることで論点の理解が深まり、文書の魅力が増す
- 市民向け文章のルールに従うこと。文章は短く、専門用語、頭字語、略語を避け、生物の種名には学名ではなく一般名を用いる。文体は単純、明快、簡潔で、繰り返す記述をしない。
- 対象とした政策・計画・事業にSEAやEIAが如何に寄与したかを記載すること。
- ターゲットとする読者に向けた明確なメッセージを作ること
- 影響を区別するための簡単な用語を用いること。例えば、「重要／重要でない」、「より悪い／より良い」などで、影響の大きさを表現する。
- NTSはEIA/SEAで示された影響をより大きく表現したり、問題ないように表現しようとしてはならない。
- NTSはEIA/SEAを補足し、サポートするものでなければならない。

より深く知りたいですか？

www.iaia.org/publications-resources
Downloadable Publications > FasTips

本文書に関する意見もしくは別のトピックの要望はありますか？

FasTips シリーズ編集者のマリア女史 (Maria Partidário,
mpartidario@gmail.com)にご連絡ください。